

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

お正月を彩るセンリョウ・マンリョウ

2つの植物は分類も性質もそれぞれ違います。センリョウ(千両)は葉の上に果実がつき、株立ちで成長し、マンリョウ(万両)は葉の下に果実がつき、枝分かかれせずどんどん伸びます。マンリョウの語源は江戸時代の「本草鑑」に見られ、葉を觀賞するセンリョウは主に3種、マンリョウは斑入りの品種が多く葉色もバラエティーに富んでいます。赤い実が厳冬期に可愛らしく彩りを見せてくれるのも良いものです。(たかはし)



ハマナスの話

「アイヌ植物誌」を読んでいて、ハマナスの話にいきあたりました。ハマナスは北海道でも海岸付近に多く自生するバラ科の落葉低木です。アイヌ語では「マウイ」と呼び、実を「マウ」といいます。熟した実は種子をとってそのまま食べたり、熟す前の実は茹でて食べたといえます。他にも染色・魔除けなど、まさに民族の生活とともにあります。学名は *Rosa Rugosa*。英名の何種類かの中には Japanese Rose というものもあるけれど、むしろ Ainu (アイヌ) Rose と呼ぶべき植物かもしれません。(きのした)

フクジュソウ

新年を祝う縁起の良い花として福寿草(フクジュソウ)があります。元日草(ガンジツソウ)朔日草(サクジツソウ)という別名もあり、鉢植えにしてお正月の飾り花に使われます。江戸時代より多数の園芸品種も作られましたが、その多くが失われました。現在は緋色や緑色、白色、なでしこ咲きなどの品種があります。北海道ではフクジュソウのほかに葉うらに毛が多く1茎に1花咲くキタミフクジュソウがあります。海岸の草地などに咲くことが多いそうです。(いとう)

冬の常緑樹

多くの木々が葉を落とし白銀の世界で春を待つころ、バラ園ではトドマツやヒバの仲間などの常緑樹が景観のアクセントになっています。また管理エリアの南端には、かつての国鉄万字線が廃止された後もヨーロップアトウヒが防風林の役目を立派に果たしています。そして皆さんの庭では、スズメと小さな野鳥がイチイのなかに潜んで餌を探す姿に、時間の経つのを忘れて見入っている方も多いことでしょう。(かわはら)

相談員からのお願い!

この草、花の名前は何と言うのですかという質問が多く寄せられます。植物の花、葉、幹等をピックアップした写真をお願いいたします。植物は何百万種ありますので、花、葉、幹等色々な角度から調べなければ、名前はわかりません。これは食べられますか、と言う質問も多く寄せられますが、食べられるもの、食べられないものとの回答はしません。食べられるものであっても、その方の体質により体調変化が起きる場合がありますからです。植物が病気、害虫被害にあった時、何という薬が良いのかと言う質問がありますが、相談員は、特定業者、特定商品名を申し上げることを控えています。お答えできることは、殺菌剤、殺虫剤などと抽象的な回答となります。ただし、使用方法などについては具体的に回答いたします。(ながやす)

バラ園

室内公園 色彩館のつるバラの管理作業が今月中旬ごろまで続きます。約4mの高さで足場を組み、すべての葉をむしってリセットし、誘引を外して剪定をし、また仕立てなおします。大温室ではゴールデンウィークごろに見事なつるバラを観ることができます。

室内公園 色彩館

ギンヨウ（銀葉）アカシア
（ミモザ、ハナアカシア）

Acacia baileyana
マメ科アカシア属
原産地：オーストラリア

Mimosa とはオジギソウ属を指す言葉で、葉がオジギソウに似ていることからミモザと呼ばれるようになりました。もともとミモザと呼ばれていたのは、フサアカシア Acacia dealbata のほうで、日本ではギンヨウアカシアもミモザと呼ばれています。ギンヨウアカシアはフサアカシアと比べて花も葉も小さくて可愛らしく、花穂が長いのが特徴です。1月中旬ごろから見ごろ。



今月の開花情報



クリスマスローズ（ヘレボルス）

Helleborus x hybridus
キンポウゲ科 クリスマスローズ属（ヘレボルス属）

クリスマス…といっても、niger という種類以外はクリスマス時期に咲かないのがこの花の残念なところ。バラエティに富み美しく、冬の寂しい庭を華やかにしてくれます。全体に毒があるので、扱う際には手袋が必須です。

【知恵袋】

野菜類の連作障害を避けるための目安

- 連作可能 …タマネギ、ネギ、ニンニク、ワケギ、ニンジン、トウモロコシ、サツマイモ
- 1年以上空ける …カブ、ミズナ、コマツナ、ホウレンソウ、枝豆
- 2年以上空ける …キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、ジャガイモ、レタス、オクラ
- 3～4年以上空ける…キュウリ、ショウガ、サトイモ、ヤマイモ、えんどう豆
- 4～5年以上空ける…ナス、トマト、ピーマン、シシトウ、トウガラシ、ソラマメ、スイカ、メロン、ごぼう

あくまでも目安です。

ただし、一度連作障害の畑地を元に戻すのは大変ですのでご注意ください。



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



番外編

近代バラの母

ジョゼフィーヌ・ド・ボアルネ

Joséphine de Beauharnais

1763年6月23日 - 1814年5月29日
本名：マリー・ジョゼフ・ローズ・タシェ・
ド・ラ・パジュリ

Marie Joséphe Rose Tascher de la
Pagerie

配偶者：アレクサンドル・ド・ボアルネ
ナポレオン・ボナパルト

ご存知の方も多いと思いますが、ナポレオンの妻 ジョゼフィーヌはバラ好きで有名です。1796年にナポレオンと結婚し、1799年にマルメゾン宮殿を購入しました。宮殿に広大な庭園を作り、約250種類ものバラを世界各地から蒐集し栽培していました。実はバラだけではなく、ダリアやユリなどの様々な植物や温室まであり、なんとシマウマやダチョウなどの珍しい動物もいたそうです！…それって、ただの金持ちのお遊びではないか？バラをこよなく愛した歴史上の人物といえば、クレオパトラやマリーアントワネットだって有名ですよ？いえ、彼女はひと味違うんです。今回はバラの歴史を交えながら、彼女の多大な功績をご紹介します。

1つ目は、ただ楽しむだけには留まらず「記録に残した」ということ。画家ルドゥーテに宮殿の出入りを許可し、宮殿にある植物画を描かせました。ボタニカルアートの最高峰『バラ図譜』は、世界各地から集めた原種や、もう現存しない品種も収録されており、芸術的価値だけではなく植物学的にも貴重な資料となっています。

2つ目は、「鑑賞価値」を与えたこと。バラは紀元前から栽培されていて、人間との関係の歴史も深いのですが、当時は観て楽

しむのではなく、香料や薬用として利用されていました。彼女は花だけではなく、樹木自体も鑑賞の対象としました。

3つ目は、「人工交配をした」こと。それまでバラは自然交雑によって生まれものばかりでした。園芸家 A・デュポンは彼女の援助を受けて、初めてバラの人工交配により新しい品種を誕生させました。これをきっかけに園芸品種が次々と作出され、ハイブリッドティーが誕生し、たった200年の間に莫大な品種数を誇るようになったのです。現在、品種数は3万～10万、もしくはそれ以上と云われています。彼女が『近代バラの母』と呼ばれる所以でもあります。

ナポレオンと離婚した後も皇后の称号が保持され、マルメゾン宮殿で余生を送ることができました。たくさんの植物に囲まれて、故郷であるカリブ海に浮かぶ緑ゆたかなマルティニーク島に想いを馳せていたことでしょう。幼少のころ「ローズ」と呼ばれていた彼女は、バラには相当の思い入れがあったのではないのでしょうか。功績だけではなく、バラに対する探究心や情熱までもが、今も脈々と受け継がれています。

ジョゼフィーヌが居なければ、皆さんはこんなにたくさんのバラを楽しむことができなかったと言っても過言ではありません。

第9回

いわみざわ洋らん展

日程

2018年2月22日(木)~

2018年2月25日(日)

入場無料!

時間: 9:00~17:00(最終日は16:00まで)

場所: いわみざわ公園バラ園内

室内公園 色彩館ロビー

出展募集

丹精込めて育てたあなたの一鉢を出展して、会場をランの花園にしてみませんか? 出展料は何点でも無料です。

お申し込み: 2月17日(土)までに
洋ラン愛好会 秋葉さん
(0126-56-2110) まで

最終日
2/25(日)は
講習会も
あります!

1月の市民園芸講座のご案内

●1月13日(土) 13:00~15:00

折バラを楽しもう 中級

料金: 無料 定員: 10名

講師: バラ園スタッフ

●1月28日(日) 13:00~15:00

多肉植物の寄せ植えをしよう

料金: 1,000円 定員: 10名

講師: バラ園スタッフ

●2月18日(日) 13:00~15:00

折バラを楽しもう 上級

料金: 300円 定員: 10名

講師: バラ園スタッフ

●2月25日(日) 13:00~15:00

洋ラン栽培の楽しみ方

料金: 無料 定員: 40名

講師: 川面 豊樹さん えるむ花園

これは面白い!

